

保土ヶ谷工場再整備工事 解体工事説明会  
において頂いたご意見・ご質問に対する本市の見解・回答について

1 住民説明会の開催状況

日時	場所	参加人数
9月13日(金)	実習展示室 (環境活動支援センター内)	22名
9月14日(土)		

2 頂いたご意見・ご質問とそれに対する本市の見解・回答

保土ヶ谷工場再整備工事 解体工事説明会において、地域の方々から、様々なご意見・ご質問を頂きました。頂いたご意見・ご質問の要旨と、それに対する本市の見解・回答を以下にお示しします。

(1) 事業概要について

ご意見・ご質問の要旨	本市の見解・回答
現在、保土ヶ谷プールと狩場緑風荘は余熱利用をしていないのか。	現在の保土ヶ谷工場はごみ焼却を休止しているため、プロパンガスなどで対応しています。
新しい保土ヶ谷工場において、発電はどのように行うのか。	ごみ焼却より出た熱を利用して、蒸気を作り、蒸気タービンを回すことで発電します。
新しい保土ヶ谷工場は、地域の人たちにも貢献できる施設にしてほしい。	災害時において電気自動車を活用した地域防災拠点への電力供給や、環境学習施設の利用などを通じて、地域へ貢献していきます。
災害による長期間の停電発生時において、ごみの焼却で得られた電気は、地域避難場所へどのように供給するのか。	隣接する児童遊園地（広域避難場所）や狩場緑風荘（福祉避難所）へは電線を引いて直接電気を供給する予定です。 それ以外の離れた地域防災拠点には電気自動車を活用し、電力供給を行う予定です。

<p>大規模災害時に、電気自動車の蓄電機能を活用し、近くの地域防災拠点に電気を供給する計画とのことだか、電気自動車は何台くらいになるのか。</p>	<p>電気自動車は、横浜市と日産自動車との災害連携協定に基づき、災害時に日産自動車から貸与される予定です。本工場には、近隣の地域防災拠点への給電に必要な電気自動車の急速充電器を設置する予定です。</p>
<p>国道1号線から工場までの搬入路について、歩道が狭く、また汚いので対応してほしい。</p>	<p>歩道の幅は、トンネル側面のパネル撤去や、横断防止策の設置位置を見直すことで、現在よりも30cm程度拡張する予定です。 搬入路は、定期的に清掃を行い、落ち葉等が堆積しないよう努めます。</p>
<p>搬入路の制限速度を20kmではなく、10kmか5kmにしてほしい。</p>	<p>速度超過抑制のため、道路上にハンプ（凸部）等の追加設置を検討します。</p>

(2) 解体工事について

項目	ご意見・ご質問の要旨	本市の見解・回答
環境測定	ダイオキシン類やアスベスト等の環境測定の測定結果は公表するのか。	ホームページにて公表する予定です。
ダイオキシン	ダイオキシン類の周辺大気中の濃度測定について、測定位置は決定していないのか。	測定位置は、東・西・南・北方向の敷地境界付近を予定していますが、具体的な測定位置は、ダイオキシン類の届出を所管するみどり環境局の指導を踏まえて決定するため、現時点では未定となります。
ダイオキシン	ダイオキシン類の測定位置として記載がある4方位とはどのような意味か。また、風向きなどによる影響もあると思うが、それ以外の場所では測定しないのか	
ダイオキシン	施設解体中にダイオキシン類が飛散することはないのか。	施設の解体前に、該当部分を密閉し、内部を洗浄します。そのため、施設解体中にダイオキシン類が飛散することはありません。 また、洗浄に使用した汚染水についても回収し、適切に処理を行います。
騒音・振動対策	騒音・振動の測定位置は2か所だけなのか。	敷地周辺の住宅が近くにある場所を選定し、2か所としています。

粉塵対策	工事車両は、工事エリアから出る際に洗浄を行うのか。	工事エリア内に入場した工事車両は、退出前にタイヤ等を洗浄し、泥等の飛散防止に努めます。
工事車両ルート	工事車両の通行ルートはトンネル以外にもあるのか。 また、トンネルの補修工事中は、通行止めとなるのか。	工事車両の通行ルートは、国道1号線からトンネルを経由するルートとなります。 工事期間中は、歩行者の迂回路を設け、車両は片側交互交通で行う予定のため、通行止めはありません。
工事車両ルート	工事車両が敷地東側にある高速道路下の道路を通行することはあるのか。	通行することはありません。
工事車両安全対策	一般車が搬入路や敷地内に入ることを禁止できないか。	保土ヶ谷工場の敷地内には、資源物の直接持込などを受付ける保土ヶ谷事務所があり、そこに用事のある方も搬入路を通行するため、一般車を通行禁止にすることはできません。 今後、誤って保土ヶ谷工場敷地に車両が入らないよう、看板設置等を検討します。
工事車両安全対策	作業員の通勤車両は、どこに駐車するのか。また、駐車場でも安全対策を徹底してほしい。	工事エリア内だけでは、駐車場が不足するため、近隣駐車場も使用する予定です。駐車場内でも、十分な安全確認等を行い、事故防止に努めます。